

(別添3)

【知名町】
校務DX計画

「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえつつ、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際の取り組みを次のとおり定める。

令和3年度に校務支援システムを導入し、校務管理・学籍管理・成績管理・保健管理のデジタル化に加え、教職員同士の校内連絡やスケジュールの管理・共有、出退勤の管理等についてもデジタル化を行ったところである。

現在導入されているシステムや環境を効果的に活用し、職員会議のペーパーレス化に取り組む学校も出てきている。このような先進的な取組を参考事例とし、今後は域内の他の学校への横展開を図るための取組を推進する。

また、校務支援システムについては、リプレイスの時期に併せてクラウド化への移行を検討している。その際には、デジタル教材・ツール等の学習成果と校務支援システムの名簿情報や成績管理との連携を図るなど、校務系と学習系がシームレスに繋がる効率的で効果的なシステム構成になるよう進めていく。

さらに、これまで慣例的に行ってきた日々の業務のやり方や進め方などを改めて見直し、FAXや押印の廃止、不要な手入力作業の一掃、保護者等との連絡・調整におけるデジタル活用など、教育におけるDXを推進し教職員の働き方を改革することで、児童・生徒と向き合う時間を生み出し、教育の質の向上を目指していく。